

令和5年度学校経営計画

学 校 名 東広島市立福富小・中学校

学校長名 中 谷 成 男

I 学校の状況

| | | | | | |
|------------|---|--------|-------|------|----|
| 学級数 | 11 | 児童・生徒数 | 95・45 | 教職員数 | 28 |
| メールアドレス | fukutomi-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp | | | | |
| ホームページアドレス | https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/fukutomi_sho_chu/index.html | | | | |

II 教育目標

夢と志をもち 今を大切に生きる児童・生徒の育成
校訓：思考・実践・感謝

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

ミッション（本校の使命）

1年後、どんな自分になりたいのか（夢）を描き、そのためにはどうしたいのか（志）という目標をもち、そこに近づくために（今）何をすればよいのかを考えて行動を積み重ねることができる児童・生徒を育成する。

ビジョン（目指す学校像）

- ① 児童と生徒がよりよいかかわりをもつ中で、安心して通うことができる学校
(児童・生徒が「喜んで登校」「満足して下校」できる学校)
- ② 夢の実現のために、目標に向かって努力する児童・生徒を最大限にサポートする学校
(児童・生徒の夢「どうになりたい？」と、目標「そのためにどうしたい？」、そして、今「何を積み重ねている？」を具現化し支援する学校)
- ③ 社会に開かれた教育活動を展開し、地域・保護者から期待され応援してもらえる学校
(地域・保護者との協働による福富の「もの」「こと」「人」に触れる教育活動の展開により、主体的に社会に参画する人材を育成する学校)

目指す児童・生徒像

- ① 自ら考え進んで行動する。
- ② 自分と他者を大切にする。
- ③ 全力で最後までやり抜く。

目指す教職員像

- ① 児童・生徒に求めることは、率先して行う。
- ② 深い愛情をもち、一人一人にかかわりきる。
- ③ 根気強く、徹底するまでやり切る。

小・中で共通して身につけさせたい資質・能力

- ① 「主体性」
- ② 「協働性」
- ③ 「自己の生き方を考える力」

小・中で共通して身につけさせたい行動規範

- ① 挨拶励行
- ② 時間厳守
- ③ 無言清掃

IV 中期経営目標及び短期経営目標

| 項目 | 重点 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 目標達成のための方策 | 評価項目・指標 |
|------------|----|---|---|---|---|
| 主体的・協働的に学ぶ | 1 | 夢を描き，志をもち，自己の資質・能力を自ら高めていく児童・生徒の育成 | 一人一人に自己のなりたい具体像（夢）と，そこに近づくための目標（志）を明確にもたせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「なりたい自分」やその実現に向けた「目標」をもたせるとともに，その達成に向けた生活習慣の確立などの取組を具現化する。 ・自他の良さを認め，人とつながって生活するためのコミュニケーション力向上に向けた取組を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「自分で決めた目標を達成している。」 【児童・生徒評価 80%】 「生活での自分の課題を解決しようとして取り組んでいる。」 【児童・生徒評価 90%】 「児童・生徒の基礎的なコミュニケーション力を高める取組を行っている。」 【教師の評価 90%】 |
| | | | 学習及び生活に，目標をもって臨み，主体的かつ協働的に学ぼうとする態度を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びや協働的な学びを引き出すための場を設定し，授業改善を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 「進んで学習に取り組んでいる。」「友達や他の学年と一緒に学習や活動をすることは楽しい。」 【児童・生徒評価 90%】 ・「授業や活動で児童・生徒が主体的・協働的に学べる場を設定している。」 【教師の評価 90%】 |
| 地域に学ぶ | 2 | 福富の人や自然等に学び，自己の生き方を考える児童・生徒の育成 | 生活科・総合的な学習の時間の探究的な学びを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の生き方や自然等を探究する学習を通して，自己の生き方を考えさせることができるカリキュラムを開発する。 | <ul style="list-style-type: none"> 「総合的な学習の時間を通して学んだことは，地域や自分の将来に役に立つと思う。」 【児童・生徒評価 95%】 「児童・生徒は地域の人々の生き方や自然を探究する学習を通して，自己の生き方を考えることができている。」 【教師の評価 90%】 |
| 信頼される学校 | 3 | 学校の教育目標や経営理念，目指す児童・生徒像を教職員・児童・生徒・家庭・地域で共有し，協働して教育を推進する。 | 学校運営協議会委員と連携し，地域とともにある学校づくりを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・C.S 委員と連携し，学校の魅力アップ，教育の充実を図る事業を推進する。 ・C.S 便り，学校便り，学年通信，HP を充実させる。（年間 10 回発行） | <ul style="list-style-type: none"> ・「学校と CS が協働することで教育の充実が図られている。」 【C.S 委員評価 90%】 【保護者評価 90%】 ・「学校運営協議会の活動がよくわかる。」 【保護者評価 90%】 |
| | | | 充実感が実感できる働き方改革を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小・中一貫校ならではの取組，業務の効率化を図る取組の提案を促し実現する組織体制を構築する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「仕事に充実感をもつことができている。」 【教職員評価 90%】 |

※ 評価指標については発達段階に応じて詳細を設定

V 学校評価

(1) 学校評価に係る組織

① 自己評価

学校評価委員会(校長, 教頭, 教務主任, 保健主事, 研究主任, 生徒指導主事)が中心となって, PDCA サイクルによる教育活動の検証と改善を行う。

② 学校運営協議会

教育課程・学校経営・組織編制の承認, 学校教育活動の改善に向けた意見をいただく。学校が行った自己評価への意見や提言をいただく。

③ 学校運営協議会の構成

地域の住民, 児童・生徒の保護者, 関係行政機関の職員, 教育委員会が必要と認めるもの

(間所克成 竹井文昭 清水則雄 教蓮孝匡 泉 忠文 周藤翔太 出羽裕子 丸岡功宗
世戸もと子 松永治寿 西丸裕二 水脇剛司 今朝丸美奈)

(2) 自己評価及び学校関係者評価等の実施計画

| 月 | 自己評価(学校評価委員会) | 児童生徒・保護者 対象の活動 | 学校運営協議会 | 公表方法 |
|----|--|----------------------------|--|----------------|
| 4 | ◇学校経営基本方針, 学校経営計画, 学校評価計画作成 ◇第1回委員会 ・自己評価表作成(評価項目及び重点項目設定) | ◇基本方針, 自己評価の説明 | ◇委員委嘱 ◇第1回協議会 ・令和5年度基本方針及び重点活動説明, 承認 | 学校便り HP |
| 5 | | | | 学校便り C.S 便り HP |
| 6 | ◇第2回委員会 ・進捗状況確認 | | | C.S 便り |
| 7 | 学校評価アンケート実施 | | | 学校便り C.S 便り HP |
| 8 | ◇第3回委員会 ・自己評価中間評価実施 ・改善策検討及び評価指標再設定 | 学校公開等の実施 ・授業参観 ・学校行事 | 学校訪問等の実施 ・日常の参観 ・学校行事 ・日常的な連携・意見交流 | |
| 9 | ◇第4回委員会 ・自己評価中間報告書作成 | | | 学校便り C.S 便り HP |
| 10 | | | | C.S 便り HP |
| 11 | | ◇中間評価公表 | ◇第2回協議会 ・授業参観及び教育活動の進捗状況説明, 意見収集 | 学校便り C.S 便り HP |
| 12 | 学校評価アンケート実施 | | | C.S 便り HP |
| 1 | ◇第5回委員会 ・自己評価最終評価実施 ・改善策検討 | 学校公開等の実施 ・授業参観 ・学校行事 | 学校訪問等の実施 ・日常の参観 ・学校行事 ・日常的な連携・意見交流 | C.S 便り HP |
| 2 | ◇第6回委員会 ・自己評価最終報告書作成 ・学校関係者評価の結果を踏まえた改善策検討 | | | C.S 便り HP |
| 3 | | ◇最終評価公表 | ◇第3回協議会 ・令和5年度教育活動の成果及び課題説明 ・令和6年度基本方針及び重点活動説明, 承認 | 学校便り C.S 便り HP |

継続的な情報収集・資料収集・整理